

宣言文

いま、地球は危機に瀕しています。これまでの社会経済活動や私たち人間のくらしが、地球温暖化や砂漠化などの問題を引き起こし、自らの生存基盤でもある環境を脅かしています。

西宮市では、市民が主体となって、六甲山系の緑の山並み、武庫川・夙川などの美しい河川、大阪湾に残された貴重な甲子園浜・香櫨園浜をはじめとした豊かな自然を守るとともに、公害問題にも取り組むなど、良好な環境をもつ都市を目指してきました。また、阪神・淡路大震災の体験を通じて、自然の力の大きさとその中で生かされている私たちの存在を改めて学びました。

西宮の環境を、そして地球の未来を次世代に持続可能な状態で引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが社会のありかたやくらしを見直さなければなりません。

環境学習とは、私たちのくらしが自然にどう支えられ、自然をどう利用してきたかを考え、環境に対する理解を深め、自然・歴史や文化・産業・伝統といった地域資源を活用しながら、地域や地球環境との望ましい関係を築いていくために学びあうことです。

私たちは、世代を超えて、家庭・地域・学校・職場などの様々な場所で、市民・事業者・行政の協働によって、人と人との新しい交流を生み出し、環境学習活動を支えるしくみをつくっていきます。

西宮に住み、学び、働くすべての人々が、文教住宅都市宣言（1963年）、平和非核都市宣言（1983年）の精神とあゆみを再認識し、環境学習を軸とした21世紀の持続可能なまちづくりを進めることをここに宣言します。

行動憲章

私たち西宮市民は、参画と協働の環境学習を通じて、21世紀の世界に誇ることのできる持続可能な都市を実現します。

1. 私たちは、自然のすばらしさを体験し、歴史、文化や産業と環境との関わりを学びあい、環境に配慮した行動を実践できる市民として育ちます。
2. 私たちは、市民・事業者・行政・各種団体・NPOなどとのパートナーシップの精神に基づいて、地域社会に根づいた環境活動を進めます。
3. 私たちは、くらしと社会を見直し、資源やエネルギーを大切にした循環型都市を築きます。
4. 私たちは、健康で文化的なくらしの中で、人と自然、人と人とが共生する、公正で平和な社会を実現します。
5. 私たちは、すべての生物が共存できる豊かな地球環境を次世代に引き継ぐため、環境学習を通じ、世界の様々な地域の人々とのネットワークづくりを行います。

平成 15 年 12 月 14 日
(2003 年) 兵庫県西宮市

<2023年3月>

発行：西宮市環境局環境総括室
兵庫県西宮市六湛寺町10番3号 TEL:0798-35-3821

企画・編集協力：NPO 法人子ども環境活動支援協会（LEAF）
協力：西宮市教育委員会



持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に向けて

環境学習 サポートガイドブック

小学校版



みやたん
西宮市キャラクター

はじめに

2003年に環境学習都市を宣言し、まもなく20年を迎えます。環境学習を通じた持続可能なまちづくりを目指して、エコカード活動などを全市的に継続実施してきました。

都市部にありながら、山・川・海に豊かな自然を有する本市の環境特性を活かし、毎年、EWC(地球ウォッチングクラブ)活動の一環として多くの児童を対象に自然観察などの活動をサポートしてきました。

本環境学習サポートガイドは、環境学習都市として本市の地域特性を活かした各種体験活動を

を先生方とともに協働して児童に対し提供することを目的としています。現代的な諸課題の一つとしての環境に関する教育についても教科等横断的な取り組みが求められています。

児童の皆さんが、小学校の6年間に自然体験・生活体験・社会体験といった基礎体験を継続的・統合的に積み上げることで「生きる力」を育み、持続可能な開発目標(SDGs)など社会的課題に積極的に取り組む主体へと成長していただけることを願っています。

学校・家庭・地域との連携を促進するEWC活動

1 地球ウォッチングクラブ(EWC)が目指していた活動理念

1992年の国連地球サミットと同じ年に始まった地球ウォッチングクラブ(EWC)の活動の目的は、自分たちの住んでいる西宮で地域と暮らしを見直す活動(地球ウォッチング)を行うことで地球市民として地球環境を守る責任を果たすことでした。

この草の根活動は、地球大好き、自然大好き、人間大好きな市民が自発的に行う活動です。

持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、誰一人取り残さない社会をつくる責任が全ての人々に課せられています。

環境学習都市として、学校・地域・家庭が一体となってアースマインドを育てていきましょう。

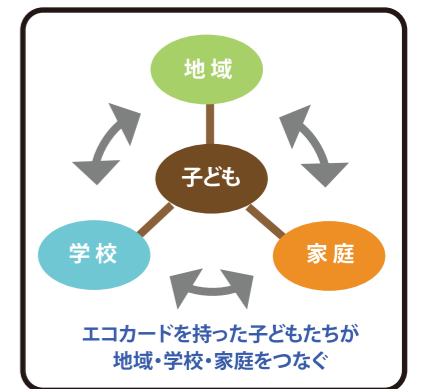


2 持続可能な地球づくりに向けたEWC活動

1998年に始まったエコカード活動は、EWC活動の活動を発展させ、地域・学校・家庭を結ぶ全市レベルでの環境学習活動として始まりました。地球環境を守る「アースレンジャー」を目指してエコスタンプを集める活動です。

今後、学校教育の基盤となる「学習指導要領」が社会に開かれたものとなっていくためには、地域社会や家庭との連携が必要となります。

エコカードを持った子ども達が、学校で、地域で、家庭でエコ活動を通じて社会をゆるやかにつないでくれています。



3 持続可能な開発目標(SDGs)

SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連総会で採択され、2016年から2030年までの国際社会共通の以下の17の目標を定め、全ての国や地域で目標達成に向けた取り組みを進めることを求めています。学校においてもSDGsについて学び、主体的なチャレンジが行われることを願っています。



目次

学校・家庭・地域との連携を促進するEWC活動	P.2
生きることは学ぶこと、学ぶことは生きること — 学習指導要領を学校・地域・家庭の共通の教育理念として —	P.3
教科等の特質に応じた体験を伴う学習活動	P.4
五感を使ったリアルな学びの機会を体験活動で	P.5
基礎体験の視点から見た教科・単元、EWC活動	P.6-10
体験活動ができる公共施設及びフィールド紹介	P.11-12
甲山自然環境センターでの体験活動と教科のつながり—5年生— (例示)	P.13-14
地域と地球を結ぶ地球ウォッチング(体験活動)の例示	P.15
地域を知り、地域を楽しみ、地域を愛するためのキーワード	P.16-18
地球と社会、地域のつながりを時間軸で理解するための歴史年表	P.19-22

文部科学省では、国内外で進行する急激な社会経済状況の変化に対応し、学びを人生や社会に活かそうとするとともに持続的な社会を担うことが出来る人材の育成を目的に学習指導要領の改訂を行いました。

何を学ぶかではなく、何ができるようになるかに注視した今回の改正では、生きる力の育成に向けた具体的方策として「資質・能力の3つの柱」を提示しています。

「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」「学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」の3つの柱を学校教育の中で実現していくために家庭や地域社会との連携・協働も呼びかけています。

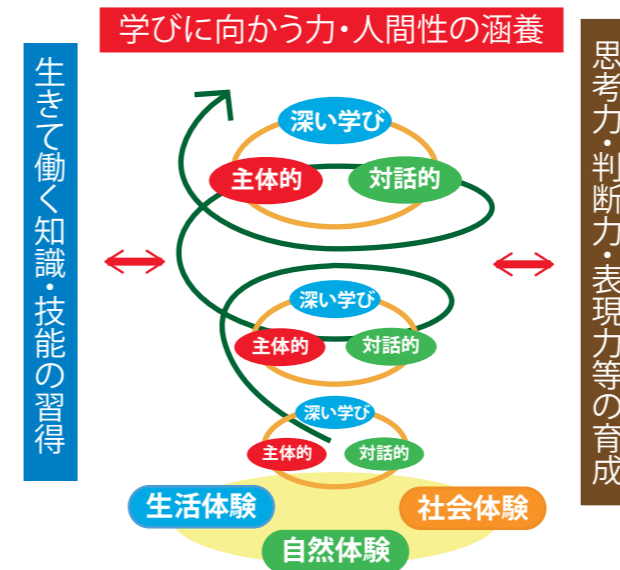
「習得・活用・探究」といった学びのスパイラル発展を実践していく上で、学び方の視点として提示された「主体的・対話的で深い学び」について児童の学習活動支援に関わるものは共通の認識を持っておく必要があります。

「社会に開かれた学習指導要領」といった考え方も示されており、これまでとは違い家庭や地域の関係者もその内容を理解しておかなければなりません。

「3つの柱」の中の「学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」については、子どもから大人までの全ての人々が考え、実践していかなければならないことがらです。児童のみならず、支援する側の大人にとっても自分事として不可欠な視点だと言えます。

学びに向かう力・人間性の涵養に向けた取り組みを進めるには、単元や教科等を横断するとともに、学年を越えた長期的な見通しも求められます。「主体的・対話的で深い学び」をPDCAサイクルに基づく継続的な学びのスパイラルに位置づけておきましょう。

カリキュラムデザインの考え方



主体的な学びの視点

- 学ぶことに興味や関心を持ち
- 自分のキャリア形成の方向性と関連付けながら
- 見通しを持って粘り強く取り組み
- 自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学びの視点

- 子供同士の協働
- 教職員や地域の人との対話
- 先哲の考え方を手掛かりに考える等を通じ
- 自己の考え方を広げ深める

深い学びの視点

- 取得・活用・探究という学びの過程の中で
- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら
- 知識を相互に関連付けてより深く理解したり
- 情報を精査して考えを形成したり
- 問題を見いだして解決策を考えたり
- 思いや考えを基に創造したりすることに向かう

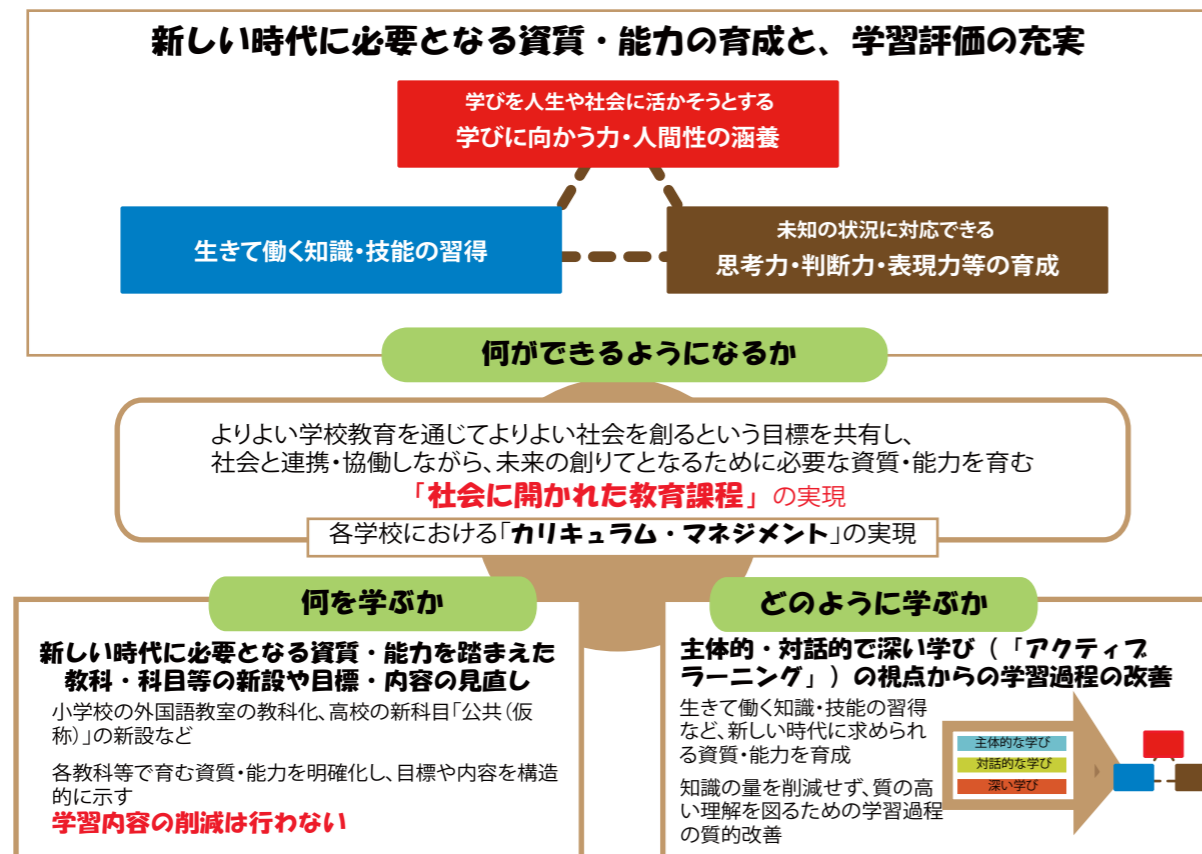
自然体験・生活体験・社会体験を総合的に意識化できるよう、個々の体験活動のつながりを整理しておきましょう

事前の動機付け → 個人の調べ学習
 ・課題の投げかけ
 ・事前の話題提供
 ・個人の調べ学習
 ・活動への期待・思いのまとめ

体験を認知し、経験知とするために
 ・体験活動を通じて多様な思いや考えに触れてみる
 ・体験を「体験」に止めず、経験知とするために対話的な学びの視点を取り入れてみる



学習指導要領改訂の方向性



学校教育法の目的や目標を実現するために文部科学省が、2016年に作成した学習指導要領改訂の方向性についてまとめた概念図です。

1 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために不可欠な「体験活動」

体験活動 学習指導要領第1章第3の1の(5)

児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

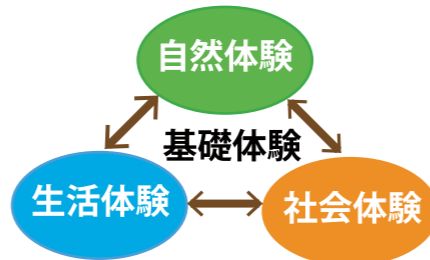
本サポートガイドでは、体験活動を自然体験・生活体験・社会体験の3つの基礎体験として整理し、学年ごとの各教科において該当する単元を抽出し、またEWCエコカード活動との関連などをP8からP10にまとめています。

掲載している生き物などの写真は、各学年での学びの対象となると思われるものを選んでいきます。

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえた体験活動の計画づくりを児童が各種の「体験活動」と「教科の特質に応じた配慮事項」を一体的に捉え、体験活動をより効果的に実施したり、体験活動の成果をさらに深めていくことができるよう「教科の特質に応じた配慮事項」についても下段に掲載しています。

P13・14には、2020年度・2021年度に小学校5年生の自然学校代替えプログラムとして甲山で実施できる体験活動と教科等との関係を整理したものを参考資料として掲載しています。

各小学校において身近なフィールドや市内の山・川・海のフィールドなどで、各学年の学習内容に即したこうした資料が作成・整理されることで体系的で継続的な体験活動を先生方の負担を少なく実施することができます。



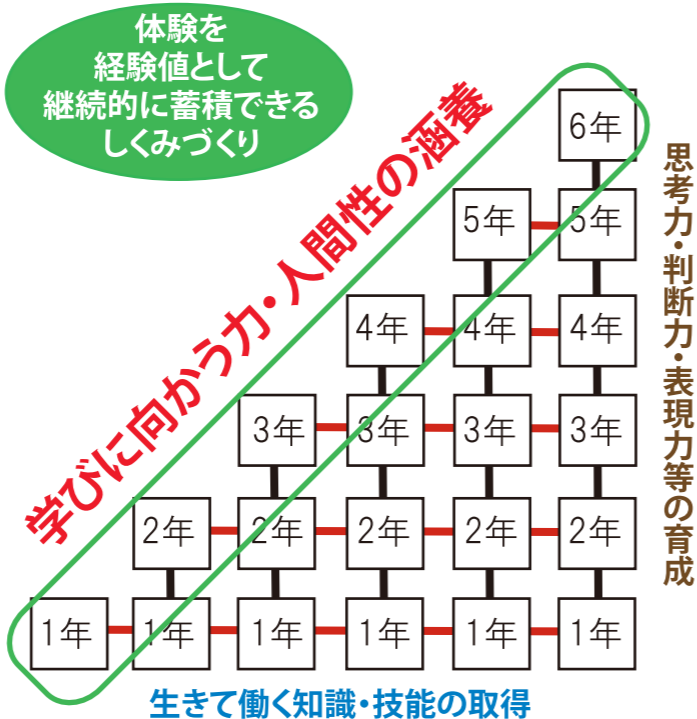
2 6年間を通じた「体験活動での学びの成長記録（ポートフォリオ）」（仮称）

この度の学習指導要領における重要課題となっている学習評価について、各種の体験活動などを通じて児童が自らの学びや成長について自己認識できるしくみ（機会）が必要ではないかと考えています。

そのためには、自己を客観視し、繰り返し自己の成長を振り返ることができるよう小学校6年間を通じた「体験活動での学びの成長記録（ポートフォリオ）」（仮称）を児童や家庭の協力のもと作成してみることもできるのではないのでしょうか。

体験活動が、体験に止まらず、思考力・判断力・表現力等の育成とも相まって記録として残されていくことで児童が自らの成長を逐次振り返ることが出来るようになります。

習得・活用・探究という学びの過程を連続的に発展させるためにもリアルな体験活動が大きな役割を担うことが出来ると考えています。



子どもたちが生きる力を育む際に土台となる基礎体験(自然体験・生活体験・社会体験)の視点から各教科の単元やEWCの活動を整理しています。8ページ以降で抽出している各学年の単元等は、実際に体験活動を行えるものばかりではありませんが、子どもたちに体験することの大切さを意識してもらうことができるものと考え掲載しています。「深い学び」につながる「習得・活用・探究」という学びの過程、思考・判断・表現の過程で大切にすべき各教科の特質に応じた配慮すべき事項(小学校学習指導要領解説 総則編 P78～P80より抜粋)についても参考にしてください。

特別の教科 道徳

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

生活科

児童が具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関する見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図ることとし、校外での活動を積極的に取り入れること。

総合的な学習の時間

児童や学校、地域の実態等に応じて、児童が探求的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習を行うなど創意工夫を生かした教育活動の充実を図ること。

特別活動

よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に資するよう、児童が集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む中で、互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視すること。

外国語科・外国語活動

具体的な課題等を設定し、児童が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現などの知識を、五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

具体的な課題等を設定し、児童が外国語における見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現などの知識を、三つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

教科の特質に応じた配慮事項

西宮市生物保護地区の生きものたち

写真上段:甲子園浜鳥獣特別保護区 下段:甲山湿原



イソシギ



コチドリ



コアシサン



ユリカモメ



オナガガモ



サギソウ



モウセンゴケ



トキソウ



ヒメタイコウチ



ハチョウトンボ

幼児期



<p>健康な心と体</p> <p>幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。</p>	<p>自立心</p> <p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。</p>	<p>協同性</p> <p>友達と関わる中で、お互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の現実に向けて、考えたり工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>	<p>道徳性規模意識の芽生え</p> <p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p>
<p>社会生活との関わり</p> <p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる。また、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>	<p>幼児期の 終わりに 育って欲しい姿</p> <p>幼稚園教育要領より抜粋</p>		<p>思考力の芽生え</p> <p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたり、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>
<p>自然との関わり 生命尊重</p> <p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まる。また、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p>	<p>数量や図形標識や文字などへの関心感覚</p> <p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>	<p>言葉による伝え合い</p> <p>先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	<p>豊かな感性と表現</p> <p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>



1・2年生



	自然体験	生活体験	社会体験
1年生	<p>教科・単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆いきものとなかよし生活> <ul style="list-style-type: none"> ・なつがやってきた ・たのしいあきがいっぱい ・ふゆをたのしもう ☆しらせたいな、みせたいな<国語> ☆くちばし<国語> ☆うみのかくれんぼ<国語> 	<ul style="list-style-type: none"> ☆じぶんでできるよ<生活> ☆きゅうしょくとうばん<道徳> ☆にほんのあそび<道徳> 	<ul style="list-style-type: none"> ☆どきどきわくわく1ねんせい<生活> ☆きゅうしょくとうばん<道徳> ☆にほんのあそび<道徳>
EWC	☆生きものはっけん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆環境パネル展
2年生	<p>教科・単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆生きものとなかよし大作せん<生活> ☆春がいっぱい・夏がいっぱい 秋がいっぱい・冬がいっぱい<国語> ☆かえてきたホタル<道徳> 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ぐんぐんそだてわたしの野さい<生活> ☆つながる広がるわたしの生活<生活> ☆あしたへジャンプ<生活> ☆おせちのひみつ<道徳> 	<p>校区たんけん</p>
EWC	☆生きものはっけん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆環境パネル展



国語科

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図ること。

図画工作科

造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。

音楽科

音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見出だしたりするなど、思考、判断し表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること。

算数科

数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象を数理的に捉え、算数の問題を見出し、問題を自立的、協働的に解決し、学習の過程を振り返り、概念を形成するなどの学習の充実を図ること。

応じた配慮事項
教科の特質に

応じた配慮事項
教科の特質に

3・4年生



		自然体験	生活体験	社会体験
3年生	教科・単元	☆生き物をさがそう<理科> ☆こん虫のかんさつ<理科> ☆春のくらし、夏のくらし、秋のくらし、冬のくらし<国語> ☆きつつきの商売<国語> ☆鳥になったきょうりゅうの話<国語> ☆里山を守ろう<道徳>	☆健康な生活<保健> ☆たねをまこう<理科> ☆植物の育ちとつくり<理科> ☆日なたと日かげの地面<理科>	☆わたしたちの住んでいるところ<社会> ☆わたしたちのくらしとまちではたらく人びと<社会> ☆市のようすとくらしのうつりかわり<社会> ☆人や社会に目を向けるって?<道徳> ☆わたしたちの西宮<社会>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
4年生	教科・単元	☆季節と生き物<理科> ☆自然の中の水のゆくえ<理科> ☆いのちをつなぐ岬<道徳> ☆このままにしていたら<道徳> ☆琵琶湖のごみ拾い<道徳> ☆プラタナスの木<国語> ☆ウナギのなぞを追って<国語>	☆ごみのしよりと活用<社会> ☆体の発育発達<保健> ☆ごみやしげんについて考えよう<道徳> ☆植物を育てよう<理科>	☆くらしをささえる水<社会> ☆ごみのしよりと活用<社会> ☆わたしたちの西宮<社会> ☆自然災害から人々を守る活動<社会> ☆神戸のふっこうは、ぼくらの手で<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

環境体験

西宮めぐり

施設見学



サワガニ

ヤゴ(ギンヤンマ)

ヨシノボリ

ドンコ

カワニナ

イソガニ

イシガニ(ガザミ)

ヤドカリ

テッポウエビ

ウミナナ

理科

理科の学習過程の特徴を踏まえ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの、問題を科学的に解決しようとする学習の充実を図ること。

社会科

問題解決への見通しをもつこと、社会的現象の見方・考え方を働かせ、事象の特色や意味などを考え概念などに関する知識を獲得すること、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用するなど、学習の問題を追究・解決する活動の充実を図ること。

5・6年生



		自然体験	生活体験	社会体験
5年生	教科・単元	☆国有種が教えてくれること<国語> ☆自然を大切に<理科> ☆植物の発芽と成長<理科> ☆花から実へ<理科> ☆雲と天気の変化<理科> ☆流れる水のはたらき<理科> ☆一ふむ十年<道徳> ☆宇宙から見たもの<道徳> ☆水がわたる橋<道徳>	☆学校や地域でのけがの防止<保健> ☆私の生活大発見!<家庭> ☆おいしい楽しい調理の力<家庭> ☆ひと針に心をこめて<家庭> ☆物を生かして住みやすく<家庭> ☆ミシンにトライ!手作りで楽しい生活<家庭>	☆日本の国土と人々のくらし<社会> ☆持続可能な暮らしへ物やお金の使い方<家庭> ☆あいさつって<道徳> ☆公園のきまりを作ろう<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
6年生	教科・単元	☆生物どうしのつながり<理科> ☆自然とともに生きる<理科> ☆大地のつくりと変化<理科> ☆命の旅<道徳> ☆海のゆりかご<道徳> ☆森へ<国語> ☆Words & Phrases 動物<英語>	☆夏をすずしくさわやかに<家庭> ☆思いを形にして生活を豊かに<家庭> ☆まかせてね、今日の食事<家庭> ☆冬を明るく暖かく<家庭> ☆ものが燃えるしくみ<理科> ☆植物のつくりとはたらき<理科> ☆発電と電気の利用<理科>	☆日本のあゆみ<社会> ☆あなたは地域や社会の宝物<家庭> ☆世界人権宣言から学ぼう<道徳> ☆六年生の責任って?<道徳> ☆「働く」って、どういうこと?<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

自然学校

火おこし・調理



タマムシ

ミヤマクワガタ

ノコギリクワガタ

ヒラタクワガタ

カブトムシ

オオスズメバチ

アオカナブン

オオムラサキ

ゴマダラチョウ

ハイイロチョッキリ

家庭科

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、知識を生活体験等と関連付けてより深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見だして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見出す家庭を重視した学習の充実を図ること。

体育科

体育や保健の見方・考え方を働かせ、運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決のための活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図ること。

応じた配慮事項
教科の特質に

応じた配慮事項
教科の特質に

3・4年生



		自然体験	生活体験	社会体験
3年生	教科・単元	☆生き物をさがそう<理科> ☆こん虫のかんさつ<理科> ☆春のくらし、夏のくらし、秋のくらし、冬のくらし<国語> ☆きつつきの商売<国語> ☆鳥になったきょうりゅうの話<国語> ☆里山を守ろう<道徳>	☆健康な生活<保健> ☆たねをまこう<理科> ☆植物の育ちとつくり<理科> ☆日なたと日かげの地面<理科>	☆わたしたちの住んでいるところ<社会> ☆わたしたちのくらしとまちではたらく人びと<社会> ☆市のようすとくらしのうつりかわり<社会> ☆人や社会に目を向けるって?<道徳> ☆わたしたちの西宮<社会>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
4年生	教科・単元	☆季節と生き物<理科> ☆自然の中の水のゆくえ<理科> ☆いのちをつなぐ岬<道徳> ☆このままにしていたら<道徳> ☆琵琶湖のごみ拾い<道徳> ☆プラタナスの木<国語> ☆ウナギのなぞを追って<国語>	☆ごみのしよりと活用<社会> ☆体の発育発達<保健> ☆ごみやしげんについて考えよう<道徳> ☆植物を育てよう<理科>	☆くらしをささえる水<社会> ☆ごみのしよりと活用<社会> ☆わたしたちの西宮<社会> ☆自然災害から人々を守る活動<社会> ☆神戸のふっこうは、ぼくらの手で<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・メッセージ活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

環境体験

西宮めぐり

施設見学



サワガニ

ヤゴ(ギンヤンマ)

ヨシノボリ

ドンコ

カワニナ

イソガニ

イシガニ(ガザミ)

ヤドカリ

テッポウエビ

ウミナナ

理科

理科の学習過程の特徴を踏まえ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの、問題を科学的に解決しようとする学習の充実を図ること。

社会科

問題解決への見通しをもつこと、社会的現象の見方・考え方を働かせ、事象の特色や意味などを考え概念などに関する知識を獲得すること、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用するなど、学習の問題を追究・解決する活動の充実を図ること。

5・6年生



		自然体験	生活体験	社会体験
5年生	教科・単元	☆国有種が教えてくれること<国語> ☆自然を大切に<理科> ☆植物の発芽と成長<理科> ☆花から実へ<理科> ☆雲と天気の変化<理科> ☆流れる水のはたらき<理科> ☆一ふむ十年<道徳> ☆宇宙から見たもの<道徳> ☆水がわたる橋<道徳>	☆学校や地域でのけがの防止<保健> ☆私の生活大発見!<家庭> ☆おいしい楽しい調理の力<家庭> ☆ひと針に心をこめて<家庭> ☆物を生かして住みやすく<家庭> ☆ミシンにトライ!手作りで楽しい生活<家庭>	☆日本の国土と人々のくらし<社会> ☆持続可能な暮らしへ物やお金の使い方<家庭> ☆あいさつって<道徳> ☆公園のきまりを作ろう<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展
6年生	教科・単元	☆生物どうしのつながり<理科> ☆自然とともに生きる<理科> ☆大地のつくりと変化<理科> ☆命の旅<道徳> ☆海のゆりかご<道徳> ☆森へ<国語> ☆Words & Phrases 動物<英語>	☆夏をすずしくさわやかに<家庭> ☆思いを形にして生活を豊かに<家庭> ☆まかせてね、今日の食事<家庭> ☆冬を明るく暖かく<家庭> ☆ものが燃えるしくみ<理科> ☆植物のつくりとはたらき<理科> ☆発電と電気の利用<理科>	☆日本のあゆみ<社会> ☆あなたは地域や社会の宝物<家庭> ☆世界人権宣言から学ぼう<道徳> ☆六年生の責任って?<道徳> ☆「働く」って、どういうこと?<道徳>
	EWC	☆生きものはつげん(夏・冬)	☆アースレンジャーファミリー	☆エコ・トレード活動 ☆環境ポスター展 ☆環境パネル展

自然学校

火おこし・調理



タマムシ

ミヤマクワガタ

ノコギリクワガタ

ヒラタクワガタ

カブトムシ

オオスズメバチ

アオカナブン

オオムラサキ

ゴマダラチョウ

ハイイロチョッキリ

家庭科

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、知識を生活体験等と関連付けてより深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見だして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見出す家庭を重視した学習の充実を図ること。

体育科

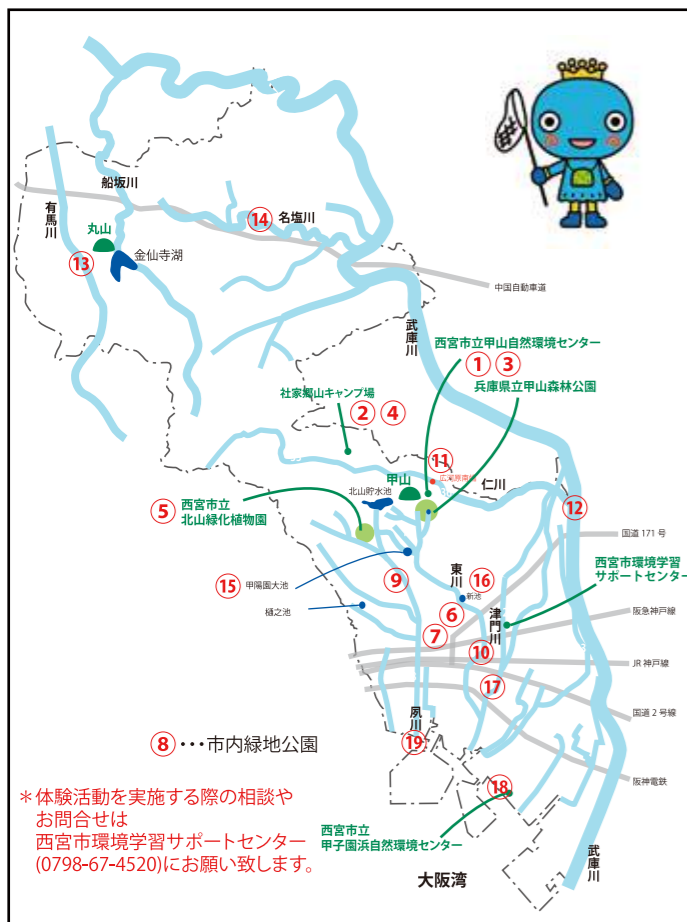
体育や保健の見方・考え方を働かせ、運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決のための活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図ること。

応じた配慮事項
教科の特質に

応じた配慮事項
教科の特質に

体験活動ができる 公共施設及びフィールド紹介

自然体験活動を行うことができる施設やフィールドを紹介しています。各校の環境担当の先生に配布している環境学習サポート資料も参考にしてください。
*EWCホームページ(先生方へ)でも閲覧できます。



森の自然と親しむ・枝打ち など森林整備の体験活動



甲山

■ 学習内容
森林整備活動、里地里山資源循環、治山治水、地質・地形、歴史



社家郷山

■ 学習内容
森林整備活動、里地里山資源循環、治山治水、地質・地形、歴史



北山緑化植物園

■ 学習内容
四季折々の植物観察や都市緑化の役割、西宮市オリジナル植物など



広田山公園

■ 学習内容
県天然記念物指定コバノミツバツツジ群落などがある貴重な神社林



西田公園

■ 学習内容
万葉集ゆかりの植物などがある公園。断層地形でできた小山が特徴



市内緑地公園

■ 学習内容
どんぐりのなる樹木や特徴ある植物が植栽された公園があります

川での生物採取などの 体験活動



夙川

■ 学習内容
北夙川橋付近で、魚やヤゴ、貝類などの採取・観察



東川

■ 学習内容
阪急神戸線南側の親水護岸で、魚やヤゴ、貝類などでの採取・観察



仁川

■ 学習内容
広河原(旧ピクニックセンター)で、魚やヤゴ、貝類などの採取・観察



武庫川

■ 学習内容
仁川との合流点付近で、魚やヤゴ、貝類などの採取・観察



有馬川

■ 学習内容
176号との交差点上流で、魚やヤゴ、貝類などの採取・観察



名塩川

■ 学習内容
名塩小学校西側で、魚やヤゴ、貝類などの採取・観察

池での野鳥などの生きもの 観察の体験活動



甲陽園大池

■ 学習内容
魚やヤゴ、貝類などの採取・観察や野鳥観察、水争いや上ヶ原開拓の歴史学習



新池

■ 学習内容
野鳥観察、江戸時代の水争いや上ヶ原開拓の歴史学習

汽水域での生きもの観察 などの体験活動



津門川

■ 学習内容
野鳥観察や汽水域の魚・カニなどの観察。潮の満ち引き、防災学習

海辺での生物採取などの 体験活動 * 潮の干満注意



甲子園浜

■ 学習内容
カニ、ヤドカリ、貝類等の採取・観察。渡り鳥の観察(環境省鳥獣保護区)



御前浜・香櫛園浜

■ 学習内容
カニ、魚、貝類等の採取・観察。渡り鳥の観察

野外炊飯などの体験活動



甲山キャンプ場

■ 学習内容
甲山産の薪を使っでの野外炊飯、焼き芋作りなど火を使う活動



社家郷山キャンプ場

■ 学習内容
甲山産の薪を使っでの野外炊飯、焼き芋作りなど火を使う活動

甲山自然環境センターでの体験活動と教科のつながり -5年生- (例示)

探究的な学習に発展できる教科・単元(例)			探究的な学習の過程としての体験活動			探究的な学習に発展できる教科
教科	関連する事項・捉え方	単元	活動場所	学習要素	体験内容	総合的な学習の時間
理科	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する ・A 物質・エネルギー ・ものの性質 ・もののはたらき ・B 生命・地球 ・生命 ・地球 ・自然を読み解く	・受けつがれる生命	・植物の発芽と成長	キャンプ場内・林内	コナラ林とドングリの発芽	登山道・林内探索、森林整備
			・メダカのたんじょう	仁川広河原	生命育む水際環境(川と池)	仁川での生物採取(魚類・貝類・昆虫等)
		・流れる水のはたらき	・地面を流れる水	仁川広河原	六甲山の誕生と仁川の成り立ち	森と仁川の観察(源流、流れ、石等)
			・流れる水の量がかわるとき	仁川広河原	仁川ピクニックセンターと砂防ダム	仁川広河原、仁川溪谷の観察
・空間・時間・関係 社会的現象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉える 比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする	・日本の国土と人々の暮らし	・日本の地形の特色	甲山及び周辺	甲山誕生から神呪寺創建、大阪城石垣産出等の歴史	甲山周回と中腹から大阪平野を見る	
		・森林とわたしたちの暮らし	甲山及び周辺	天然林・人工林、森林の役割、キャンプ場	間伐、薪・チップ・落ち葉堆肥づくり	
	・国土の環境を守る	・自然災害から人々を守る	甲山・仁川広河原	六甲山系の成り立ち、断層、急峻河川	明治から昭和に作られた砂防ダム探索	
			四季の道・砂防ダム	六甲山系の成り立ち、断層、急峻河川	明治から昭和に作られた砂防ダム探索	
・協力 ・健康・快適・安全 ・生活文化 ・持続可能な社会	・私の生活、大発見!	・加熱調理器具の使い方	キャンプ場内	加熱調理の原点・火を扱う、エネルギーの歴史	薪で火起こし・焼き芋づくり体験	
		・消費者の役割(使う責任)	LEAF神呪寺農地	安全・安心な作物栽培、賢い選択(エシカル消費)	サツマイモ収穫と農作業体験	
	・持続可能な暮らしへ物やお金の使い方	・上手に暮らそう 資源を生かす	キャンプ場内	森林資源の有効活用(薪、落ち葉、剪定枝チップ)	地場産の薪作り、落ち葉堆肥・チップ作り	
			全 域	森林からの材料提供 間伐材チップ、ドングリ等	木工クラフト、リース作り	
・話す・聞く、書く、読む ・言葉 ・振り返る 考える(つなげる・広げる) ・学習や生活にいかす	・情報 目的に応じて引用するとき 例示: 森林の働き	・社会科とのつながり	甲山及び周辺	水源涵養、温暖化防止、災害対策、心身滋養	安山岩・花崗岩・チャート(大阪層群)探索	
		・日本列島の成り立ち	甲山及び周辺	甲山と六甲山のでき方の違いと地球の歴史	外来植物観察調査、カブトムシの幼虫調査	
	・固有種が教えてくれること	・外来種、生物多様性	甲山及び周辺	外来植物(ニセアカシア)、甲虫	湿原と周辺環境の観察	
		・絶滅危惧種 ・天然記念物	甲山湿原、周辺	湿原の成り立ちと動植物	生きもの観察ポイントラリー	
・表現 ・鑑賞	・オーケストラのみりよく	・オーケストラのひびきを楽しもう	甲山林道、仁川広河原	ホタル、オオムラサキ、モリアオガエルの繁殖	森の中でオーケストラを鑑賞する	
			キャンプ場内	自然の中で音楽を味わって聴く(野外用音響設備)		

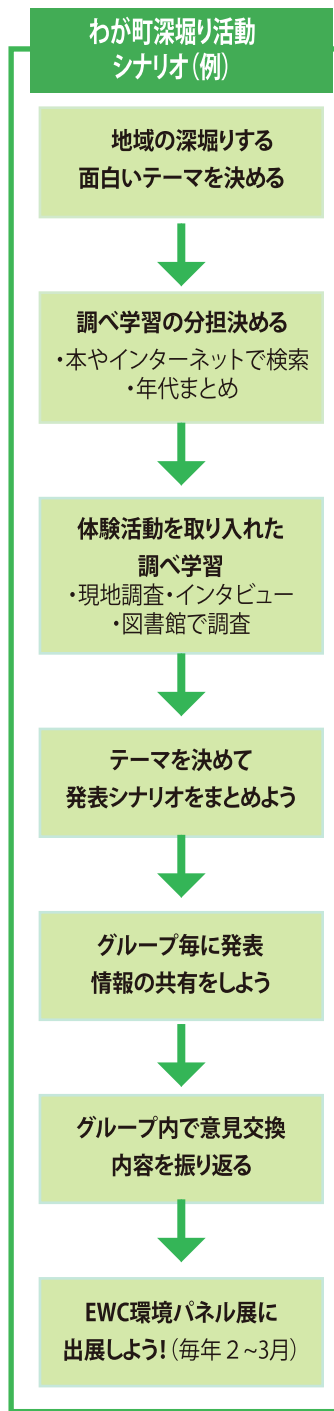
【基本的な考え方】
 ・探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、より良く課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を目指す。
 ・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。
 ・実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【育成を目指す資質・能力】
 ・「知識及び技能」については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすること。
 ・「思考力、判断力、表現力等」については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。
 ・「学びに向かう力、人間性等」については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

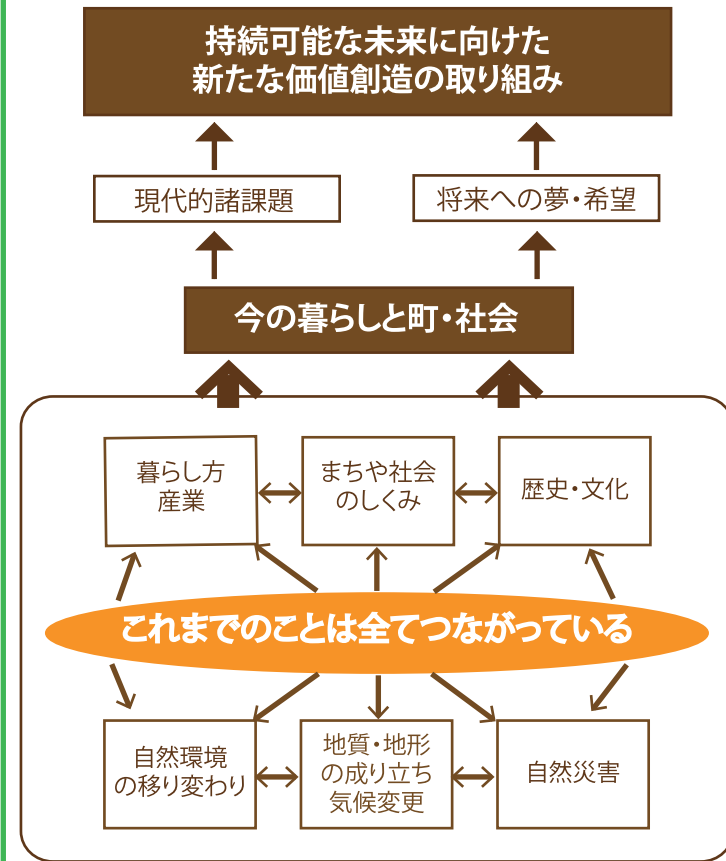
【探究課題の例示】
 ・国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
 ・地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題
 ・児童の興味・関心に基づく課題

*1プログラムの活動時間は概ね45分から90分で構成し、学校との調整で活動テーマや内容は組み合わせることとします。

地域と地球を結ぶ地球ウォッチング（体験活動）の例示



俯瞰的なものの見方・考え方を育てるための最適フィールドとしての“地域”



わが町(地球)ウォッチングのバージョンアップ



自分たちでつくる情報ツール

- 地域情報カタログ
 - 校区のおもしろ情報カード

場所名	写真
内容	写真
- 地域情報マップ

授業改善の視点

- 「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた授業改善
 - 言語環境の整備と言語活動の充実
 - コンピュータ等や教材
 - 教具の活用・コンピュータの基本的な操作やプログラミングの体験
 - 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動
- 体験活動
- 課題選択及び自主的自発的な学習の促進
- 学校図書館、地域の公共施設の利活用

地域を知り、地域を楽しみ、地域を愛するためのキーワード(例示)

地域学習支援情報検索システム

人・まち・エコ
つなげてマップ

<町名の由来検索できます>

(北部編)

六甲山の形成	武庫川氾濫の歴史	大阪層群	有馬層群	船坂
神戸層群	日本列島の誕生	加古川との河川争奪	武庫川溪谷	蓬莱峡
古武庫川の時代	武庫川の源流	有馬高槻構造線	有馬温泉と炭酸せんべい	山口の盆踊り
武庫川流域	武庫川の水害史	蓬莱峡・白水峡の地形	有馬川とホテル	明徳寺
名塩川	太多田川と砂防堰堤	流紋岩と花崗岩の境界線	船坂川と鎌倉溪	生瀬宿場跡
名塩和紙	有馬街道	蓬莱峡と砂防堰堤	船坂断層横ずれ地形	八幡神社
有馬と塩山	600万年前の海水	7000万年前の火山活動	付加体 丹波帯と領家帯	重次郎が淵
内水面漁業権	名来の由来	公智神社	先行河川	武田尾温泉
断層河川	船坂の寒天	四十八瀬	山口の大ケヤキ	中野の大カヤ
浄橋寺	名塩の蘭学塾	高座岩	塩瀬散歩コース	善照寺
座頭谷と知るべ岩	公智神社	山口散策コース	木元寺と木元地蔵	教行寺
漆が淵	白滝姫の涙水	銭塚地蔵	孝徳天皇行宮所	生瀬村名塩村の合併
琴鳴山と赤子谷	溝滝	米が淵		

西宮北部地域の地質・活断層マップ

有馬川の高気差

自然災害被害

地域学習情報提供システムの活用

歴史時代の気候変動

六甲山の形成

六甲山系の断層

六甲山の史迹

参考 “鳴尾のいちご”と約7000万年前に地下深くで形成された花崗岩の深いつながり

花崗岩の形成 (7千万年前)

色んな情報をどんな風に整理してみますか?

天井川の仁川と百間樋 扇状地(砂地) 寒冷地と新田開発 肥料としての人糞・畜糞 布団綿のお店が多い

武庫川氾濫と枝川分流 北郷公園の義民碑 スイカ・綿菜種の栽培 明治維新西洋文化

1500万年 1200万年 100~50万年 1000年 1600年 1700年 1800年 1900年 1950年

日本列島大陸からの分離 甲山の誕生 六甲山地の形成 平安時代の海岸線 武庫川の氾濫改修工事 甲子園球場の建設 大阪神戸の鉄道開通

プレートテクトニクス 断層運動 曾根・なるおの町名の由来 鳴尾村議会の決断 枝川の廃川と浜甲子園団地 住宅都市として発展

鳴尾のいちご

地域を知り、地域を楽しみ、地域を愛するためのキーワード(例示)

地域学習支援情報検索システム

人・まち・エコ
つなげてマップ

<町名の由来検索できます>



(中部編)

甲陽断層・甲陽園断層	砂防堰堤	苦楽園の地名の由来	大井出・木津山・石劔の地形	鷲林寺
夙川河道の付け替え	大阪城石垣	南郷山・満池谷・城山の地形	満池谷壘層とは	銀水橋から鷲林寺へ
大社中学校のラリックス	名次町の名前の由来	ニテコ池の建設	震災記念碑と断層地形	北山貯水池
扇状地・砂洲・砂嘴	上ヶ原断層	広田小学校でのアデク層	具足塚古墳	甲陽園
広田神社	兜籠底石碑(とろくていせきひ)	甲陽園大池・広田新池の開発	弥生時代の水田跡	甲山湿原
瓦林城址と時代背景	水路網と水争い	武庫川氾濫の歴史	自然堤防	鷲林寺の竹林
阪急電鉄の地域開発	甲山の誕生	大阪層群	チャートの礫層	社家郷山のアカマツ林とコナラ
凝灰岩	仁川の源流と渓谷	六甲山の地形	仁川下流部の特徴	モリアオガエル
上ヶ原台地の形成	関学校内古墳群	弥生時代遺跡	五ヶ山古墳群	広河原のホタル
百間樋の建設	天井川	上ヶ原台地の開発と水源確保	上ヶ原用水樋門	甲山散策コース
西国街道と髭の渡し	段上町の名前の由来	除け堤	仁川渓谷	津門の入り海
仁川ピクニックセンター	武庫川の源流	気候変動と海岸線の変遷	武庫川旧河道図	名勝・名次山
武庫平野	武庫川流域	武庫川の水害史	山之井	コバノミツバツツジ
上ヶ原八幡神社	甲東梅林	文教地区	山陽新幹線六甲隧道(六甲トンネル)	満池谷墓地
門戸厄神	腹切地藏	道標と西国街道	一麦保育園	あずき凝灰岩
夙川河川敷公園	夙川のつけかえ	苦楽園の開発	湯川秀樹博士	中村
谷崎潤一郎	下村海南	越木岩神社	メタセコイヤ	西国街道と越水城
越木岩の昔	豊楽公園	銀水橋	夙川上流緑道	西宮の怪談
コホロギ橋と大井手町	片鉾池	マンボウ	分銅町の一本松	上ヶ原新田
ラ・パボーニ	悲しきメリークリスマス	西宮市郷土資料館	400年おきに大地震	仁川百合野地すべり資料館
温泉(鉱泉)の湧出	甲山の地質	弥生時代古墳時代の暮らし	神呪寺	上ヶ原新田

地域を知り、地域を楽しみ、地域を愛するためのキーワード(例示)

地域学習支援情報検索システム

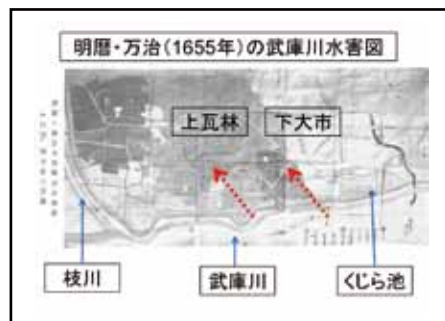
人・まち・エコ
つなげてマップ

<町名の由来検索できます>



(南部編)

平安時代の海岸線	潮の満潮・潮位・大潮	夙川河口の特徴	西宮断層帯	「なるお」の起源
御茶家所町の崖地形	西宮戎神社・南宮社	御前浜の名前の由来	門前町・市庭町の名前の由来	鳴尾運動場
傀儡子発祥の地	香櫨園の地名の由来	天井川	堀切川・大浜ポンプ場	旧武庫川線
浜脇小学校の石塔	水抜小学校	安井町の名前の由来	砲台の建設	武庫川女子大学甲子園会館
洗戎ポンプ場	気候変動の変遷	津門の入海	扇状地・砂洲・砂嘴	鳴尾義民碑
務古(武庫)の湊	神祇官町の名前の由来	海清寺の樹齢約700年クスノキ	用海町の名前の由来	浄願寺
東川排水機場	津門の名前の由来	津門川でのアユ遡上	津門首・銅鐸の発見	中津
稲荷山古墳・大塚古墳	武庫川氾濫の歴史	春風の名前の由来・船江村	万治の戸崎切れ	上鳴尾墓地
瓦林村と御代村	中国街道	今津村の変遷	自然堤防	鳴尾八幡神社
平地の高低差	旧枝川の廃川と地域開発	阪神電鉄の地域開発	甲子園浜海水浴場	一本松
甲子園浜埋め立て反対運動	阪神パークの変遷	甲子園球場	久寿川ポンプ場	高須の変貌
大阪層群	六甲山の形成	武庫川の源流	気候変動と海岸線の変遷	鳴尾百花園
武庫川旧河道図	武庫平野	武庫川の氾濫と枝川の誕生	武庫川流域	鳴尾浦
武庫川の水害史	武庫川河口の変遷	鳴尾の地名の由来	上鳴尾の地形	鳴尾競馬場
小曾根の地名の由来と歴史	旧枝川・申川	岡太神社	江戸時代の上田新田開発	今津灯台
鳴尾の農産物・イチゴ	枝川廃川と甲子園開発	川西航空機	甲子園浜の干潟	今津六角堂
鳥獣特別保護地区	鳥獣保護区	排水機場とポンプ場	梁塵秘抄	今津大観楼跡
「宿場」が「森具」に	「宿場の川」が「夙川」に	千年前の入江	夙川つけかえ	三河川合流の要所の地
氾濫する荒戎川	神功天皇と御前浜	白砂青松の砂浜	香櫨園遊園地	西宮の浜方
西宮神社	えべっさんの豆知識	おこしや伝説	石在町(宮水と酒)	新酒番船
鞍掛町(宿場)	市庭町	戸田町(大坂町奉行所へ出張所)	産所町(傀儡師)	とれとれのイワシ



地球と社会、地域のつながりを時間軸で理解するための歴史年表 その2

<西宮市の区分>
 *大正以降は、全市・南部地域・中部地域・北部地域の順に整理しています

年 代	推定人口	国内外重要自然災害(地震・火山噴火等)	国内での重要な出来事	西宮及び周辺地域での風水害史
江戸	1834年 32476700 1840年 31102100 1846年 32297200	1815 タンボラ山噴火(インドネシア)	1825 異国船打ち払い令 1833 天保飢饉(～1838) 1837 大塩平八郎の乱 1841 高野長英・渡辺崋山が囚われる(蚕社の獄) 天保の改革(～1843) ペリーが浦賀に来る 1854 日米和親条約締結 1856 洗染一揆 1858 日米修好通商条約締結 1859 安政の大獄 1860 桜田門外の変 1862 生麦事件、薩英戦争(～63) 1864 四ヶ国の軍艦が下関を砲撃 1866 薩長同盟の成立 1867 大政奉還、王政復興の大王令	1815 畿内大洪水あり(風也集) 1816 畿内大洪水あり(泰平年表) 1821 畿内大洪水あり(泰平年表) 1848 慶長以来の大洪水 1854 朝辰の刻・古今稀也、大地震高汐打ちかけ云々(瓜屋忠七文書) 1857 畿内洪水(嘉永明治年間録)
明治	1868年 1872年 34806000 1900年 43847000	1883 クラカタウ山噴火(インドネシア) 1888 磐梯山噴火 1891 濃尾地震(M8.0) 1896 明治三陸地震・津波(M8.2) 1902 伊豆諸島噴火 1902 プレー山火噴火(西インド諸島、フランス領) 1902 サンタマリア山火噴火(グアテマラ共和国)	1867 明治維新が始まる 戊辰戦争(～69) 五箇条の御誓文・五榜の揭示 1869 版籍奉還 1871 廃藩置県 1872 学制の発布 1873 徴兵制、地租改正が始まる 征韓論起こる 1874 民選議院設立建白書 台湾出兵 1875 千島・樺太交換条約 江華島事件 1877 西南戦争 1881 国会開設の詔 1884 内閣制度を定める 1888 市制・町制がしかれる 1889 大日本帝国憲法が公布 1890 第1回帝国議会の開催 日清戦争(～95) 1895 下関条約。台湾出兵 三国干涉 1902 日英同盟 1904 日露戦争(～05) 1905 ポーツマス条約 1905 東北大凶作(～06) 1910 大連事件。 韓国併合	1865 武庫川決壊(上瓦林) 1866 武庫川決壊(上瓦林) 1892 六甲山地で大水害 砂防計画策定 1894 甲山国有林(県内初治山工事実施) 1896 武庫川決壊(堤新田) 1897 枝川決壊(今津漫水) 1911 有馬川洪水
大正	1912年 1920年 55963000 1923	1914 嵯峨噴火 1923 関東大震災(M7.9)	1912 第1次護憲運動(～1913) 1914 第1次世界大戦に参戦 1915 中国に21か条の要求を出す 1918 米騒動。 シベリア出兵(～1922) 1920 普通選挙運動がさかんになる 国際連盟に加盟 1922 全国水平社の創立 第2次護憲運動(～1924) 1925 普通選挙法・治安維持法制定	
昭和	1926年 1930年 64450000 1940年 71933000 1950年 83200000 1960年 93419000 1970年 104665000 1980年 117080000	1926 十勝岳噴火 1933 昭和三陸地震(M8.1) 1940 三宅島噴火 1943 鳥取地震(M7.2) 1944 昭和東南海地震(M7.9) 1946 昭和南海地震(M8.0) 1946 嵯峨噴火 1947、49、50 浅間山噴火 1948 福井地震(M7.1) 1960 赤リ地震(M9.5) 津浪被害 1962 三宅島噴火 1978 伊豆大島近海地震(M7.0) 1980 セントヘルズ山噴火(米国防産省) 1983 日本海中部地震(M7.9) 1983 キラウエア山噴火(米国防産省) 1983 三宅島噴火 1985 ネバデルルイス山噴火(コロンビア) 1986 伊豆大島噴火	1931 満州事変(～1932) 1932 五・一五事件。満洲国成立 1933 国際連盟を脱退 1936 二・二六事件 1937 日中戦争(～1945) 日独伊防共協定 1938 国家総動員法が成立 1940 日独伊三国条約 1941 ソソ中立条約 第二次世界大戦が始まる ソ連が日本に宣戦 1945 広島・長崎に原子爆弾が投下 ポツダム宣言の受諾、第二次世界大戦終戦 治安維持法の廃止、財閥解体 農地改革、選挙法改正 1946 日本国憲法施行、新学制発足、地方自治法... 1950 朝鮮戦争(～1953) 1951 サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約締結 自衛隊発足 1955 原水爆禁止世界大会(広島) 日ソ共同宣言(国交回復) 国際連盟に加盟 1960 日米安全保障条約の改定 1963 部分的核実験禁止条約調印 1965 日韓基本条約 1967 公害対策基本法公布 1968 小笠原諸島が日本に復帰 1972 沖縄が日本に復帰 日中の国交正常化 1973 石油危機がおこる 1978 日中平和友好条約に調印 1979 国際人権規約を批准 1985 女子差別撤廃条約を批准	1928 武庫川改修工事が竣工する 1934 室戸台風被害(浸水3660戸) 1938 阪神大水害(浸水8400戸) 1941 大井滝堰堤完成 1944 仁川峡堰堤完成 1950 ジェーン台風(浸水13000戸) 1953 高潮対策の防潮堤が完成 1955 河川大改修 1961 第2室戸台風(浸水4021戸) 1961 神呪堰堤完成 神呪第2堰堤完成
平成	1989年 123611000 2000年 126926000 2010年 128057000	1991 ビナツボ山火噴火(フィリピン) 1991 雲仙普賢岳噴火 1993 北海道南西沖地震(M7.8) 1995 阪神淡路大震災(M7) 2000 三宅島噴火 2004 スマトラ沖地震(M9.1-9.3) 津浪被害 2004 新潟中越地震(M6.8) 2009 新潟中越地震(M6.8) 2011 東日本大震災(M9.1) 津浪被害 2011 新燃岳噴火 2014 御嶽山噴火 2016 熊本地震(M7.5以上) 2016 バブロフ山噴火(米国防産省) 2018 大阪北部地震(M6弱)	1991 湾岸戦争に掃海艇派遣 バブル経済の崩壊 1992 国連平和維持活動(PKO)協力法の施行 1993 東京サミット開催 1994 子どもの権利条約を批准 1995 地下鉄サリン事件起こる 1998 明石海峡大橋開通 1999 国旗国歌法・ガイドライン法が成立 2000 沖縄サミット開催 2001 米中両国同時多発テロ発生 2004 北朝鮮拉致被害者家族が帰国 2005 JR福知山線脱線事故 2009 裁判員制度スタート 2013 富士山が世界文化遺産に決定	1989 西宮地域集中豪雨 (観測史上最大 時間雨量112mm) 1993 大冷夏 凶作 1994 大洪水(武庫川干上がる) 1995 阪神淡路大震災(M7) 西宮の被害 死亡者：1134人 家屋全壊：34181世帯 家屋半壊：27116世帯 避難者：44351人 2018 平成30年7月豪雨 台風第21号
令和	2019年 126167000	2022 ファンゴ・トンガ山噴火(トンガ) 2022 マウナロア山噴火(米国防産省) 2022 スメル山噴火(インドネシア) 2023 キラウエア山噴火(米国防産省)	2019～ 新型コロナウイルス感染症世界的規模流行 2020～2021 緊急事態宣言などの発令	

西宮市 南部地域	西宮市 中部地域	西宮市 北部地域
1802 当倉屋金兵衛が西宮浦築土工事始める 1805 伊能忠敬、西宮を測量する 1810 長部長兵衛が今津灯台を建てる 1828 今津浜村酒造28軒 1840 (1837?)山邑太左衛門が宮水を発見 1854 ロシア軍隊が鳴尾村沖にあらわれる 1963 勝海舟が西宮に砲台設置を提案、將軍家茂が視察 1866 西宮砲台(国史跡)、今津砲台が完成 1867 西宮・大阪などで「ええじやないか踊り」が流行 1867 長州藩兵が11月に西宮に入る・12月上洛	1802 仁川から取水する大井滝分水樋完成 (巖岩に穴を掘り水を通す) 1856 仁川取水する上ヶ原用水路に分水樋ができる 仁川から取水する五ヶ池(上池・下池)ができる 1873 門戸小学校(甲東小学校)、開文小学校(瓦木小学校)、正則小学校(芦原小学校)開設 1889 瓦木村を8村で形成	1828 名塩・生瀬村、上ヶ原新田が尼崎領になる 1851 尼崎藩は名塩和紙の専売について名塩村と交渉 1855 名塩に紙祖東山弥右衛門の報恩碑が建つ 1862 伊藤慎蔵が名塩に蘭学塾を開く 1866 有馬川洪水 1902 大降雨水害起こる 1905 ウイルキンソンタンサン鉱泉(株)が生瀬に設立 三田・有馬にはじめてバス開通
1914 山村製菓所がつくられる 1919 西宮町衛生組合が夏の掃除実施 1920 武庫川改修の泉宮工事が始まる 1922 阪急電車、今津に火力発電所建設 1923 町営水道給水が始まる 1925 西宮市制が施行	1914 鳴尾村議決 武庫川改修の件を決議 1915 今津砲台を解体 1920 枝川・甲川を廃川 1922 西宮砲台が内務大臣から史跡に指定 1923 枝川・甲川の廃川敷地所有権が阪神電車に移転 西宮町営水道の第1期補水工事が完了 津門にあった大塚古墳が消滅 甲子園球場開場式実施 甲子園海水浴場を開設(阪神電鉄) 1924 阪神電車、大阪出入橋・神戸三宮間で運転開始 1905 香植園海水浴場を開設(阪神電鉄) 1907 香植園(関西最大の遊園地)を開園 1908 西宮町、鳴尾・今津・大社村などに電灯が灯る	1913-1914 甲東村、瓦木村に電灯がともされる 1915 三田・有馬間に有馬軽便鉄道が開通 1916 山口地区に電灯がともされる 船坂の坂本真之定が「バセリ」を試作、全村に拡大 1918 甲陽園地区開発が始まる 1920 阪急電車神戸線が開通 1921 阪急電車西宮北口ー宝塚間に単線が開通 1922 下大市村民、「茄子苗培養法発明家頌徳碑」建立 1923 阪急電車、甲東園駅中心に住宅・土地を販売 1924 阪急電鉄甲陽線が開通
1933 今津町・芝村・大社村が合併 1937 阪神防空演習が実施 1941 甲東村が合併 市立学校教職員が鳴尾飛行場開設 に学校勤労報国団として出勤 1942 瓦木村が合併 1943 同和教育研究会が西宮で開催 1945 12回の空襲を受け、市南部は焦土 占領軍が進駐する 1946 西宮市直営の製塩工場を西波止町 地先に竣工し、自給製塩に着手 1947 西宮市直営の新炭生産量 (木炭：4869俵、薪：137480束) 1948 西宮市教育委員会が発足 1951 鳴尾村・山口村・塩瀬村が合併 1951 治山治水のため造林事業を開始 1962 安全都市を宣言 1963 文教住宅都市を宣言 1971 西宮市役所新庁舎(現本館)完成 西宮市同和教育基本方針を策定 1979 武庫川団地が完成 1981 西宮市合成洗剤対策および石けん 使用推進要綱を定める 1983 西宮甲子園埋立公害訴訟原告団、西宮市の仲介 案(計画縮小)を受け入れ和解	1926 阪神電車甲子園線を開通 阪急電鉄今津線開通 阪神国道電車開通 1932 甲子園娯楽場は動物園、遊園地を設け、阪神パ ークと仮称 1934 省線電車(現JR)の吹田～須磨間が開通 甲子園駅開設 1935 防潮堤工事(鳴尾競馬場以西～芦屋川) (最大干潮面平均5mの高さまでの盛土築堤) 海軍、飛行場用地として、阪神パーク・鳴尾競技 場・テニスコートを接収 1951 鳴尾村、西宮と尼崎のどちらと合併するか住民投票 票を実施(西宮：6865票、尼崎：3316票) 1960 阪神海岸開発協議会で西宮海岸を埋立て、石油コ ンピネータ(日本石油(株))の誘致計画を発表 1961 浜甲子園団地を米軍甲子園キャンプ跡地に建設 1962 日本石油(株)からの西宮海岸埋立出願を許可す るつもりがないとの県知事発言を受け、市長が白 紙に戻す 1963 第2阪神国道(国道43号)開通 1965 甲子園・香植園両海水浴場が水の汚れて閉鎖 1967 夙川・武庫川間の防潮堤(最高O.P.+7.4m)完成 1968 し尿の海上投棄を止め、枝川浄化センターで し尿処理を開始 1970 枝川浄化センター、下水の通水式を行い、下水処 理(生活排水などを含む)を開始 阪神高速道路・神戸西宮線が開通 国道電車廃止 1975 国道線の残部と甲子園線が廃止 1978 甲子園浜の干潟が鳥獣保護区に指定 1981 阪神高速道路・大阪西宮線が開通 1982 西宮甲子園埋立公害訴訟原告団、西宮市の仲介 案(計画縮小)を受け入れ和解	1929 関西学院が甲東村上ヶ原台地に移転 1930 阪急電車が甲陽園(現1～3丁目)を開発販売 1943 社家郷山・甲山で市直営薪炭材供給事業 1947 甲山山火事起こる 1951 阪急電車、仁川ヒクニックセンター開設 1956 東六甲山地帯が瀬戸内海国立公園に追加指定 連合婦人会甲山山頂に平和塔を建立 1958 上ヶ原地区が文教地区に指定 1959 西宮市 社家郷山を西宮ゴルフ場に売却 1965 満池谷果樹の植物遺体包倉層が兵庫県指定天 然記念物となる 甲山教育キャンプ場(現甲山キャンプ場)、開設 1966 甲山山火事起こる(1月、2月) 1967 甲山青年の家開設(現甲山自然の家) 1968 北山貯水池完成 1969 広田神社のコバノミツバツツジ群落が兵庫県 天然記念物に指定される 1970 甲山森林公園開設(兵庫県制100年記念) 1972 山陽新幹線開業 1977 甲山温泉観察園開設 1982 北山緑化植物園開園
1989 山東少年自然の家開設 1992 地球ウォッチングクラブ)開始 市議会で「環境宣言」を決議 1994 西宮市環境計画を策定 1997 西宮市環境保全条例を施行 1998 EWCエコカード活動開始 地域FM局(さくらFM)が開局 2003 環境学習都市を宣言 2005 西宮市環境基本条例施行、西宮市 新環境計画策定 2008 中核市に移行 2012 西宮まちたび博開幕 2013 文教住宅都市宣言50周年、平和非 核都市宣言30周年、環境学習都市 宣言10周年 2019 第3次西宮市環境基本計画及び 部門別計画が改定 市役所第二庁舎(危機管理センタ ー)開庁	1992 国道43号線訴訟で国と公団に賠償支払いを命じ る控訴審判決が出る 1994 阪神高速道路湾岸線が開通 1995 新西宮ヨットハーバーが開港 1997 西部総合処理センターが西宮浜に完成 1999 西宮市貝類館が西宮浜に完成 2001 阪神本線久寿川～芦屋市境界間の高架が完成 し、西宮東口駅が廃止 2002 西宮競輪・甲子園競輪終了 2004 「らぼーと甲子園」開業 2007 JRさくら夙川駅開業 2010 山手幹線全通 阪急電車 西宮北口駅～今津駅高架完成 阪神甲子園球場誕生90周年	1989 名塩小学校に和紙学習館を開設 1990 塩瀬センターがオープン 1991 西宮北有科道路、盤滝トンネルが開通 西宮名塩ニュータウンの街びらき記念式典開催 2009 山口センター開設 さくらやまなみバス運行開始 2015 環境省の重要里地山に「ナショナル想像の森」 が選ばれる 2017 東六甲石丁場が国史跡に指定される 2018 西宮北有科道路が無料化